

2022年1月28日
損害保険ジャパン株式会社

千葉県における新たなSDGsの取組みについて ～回収衣類をJFSAへ贈呈～

損害保険ジャパン株式会社(代表取締役社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン」)は、千葉県の地域貢献取組みの一環として、特定非営利活動法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会(理事長:依知川 守、以下「JFSA」)と連携し千葉県内全職員を対象とした衣類回収を実施し、2022年1月28日にJFSAへ贈呈を行いました。

1. 背景・経緯

損保ジャパンは、千葉県内に4部店(22課支社)の営業・保険金サービス拠点がありますが、4部店横断で千葉県に貢献する取組みを行う組織として「千葉プロジェクト」を立ち上げて、千葉県への地域貢献を目的に様々なテーマの活動を実施しております。昨年度から新型コロナの影響で食品入手が困難になっている方々への支援を目的にフードバンクちばと連携した「SOMPOフードドライブ」を継続実施しております。

今年度は、「千葉プロジェクト」で誰もが参加できる新たな取組みを検討・企画し、千葉県が推進するSDGs(主に、1:貧困をなくそう、4:質の高い教育をみんなに、12:つくる責任 つかう責任)にも貢献できる取組みとして実施しております。

2. 取組みの概要

千葉県内の損保ジャパン4部店所属の職員を対象に不要となった衣類やタオル等を募集して県内の拠点ごとに回収を行いました。海外でスラムに暮らす子どもたちの自立支援と千葉県内の更生団体や支援団体の活動につながる取組みに賛同した多くの職員から衣類等を回収することができ、これらの回収品をJFSAに贈呈しました。

3. 今後について

損保ジャパンは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」実現に向けて、思いを同じくする方々とも連携することで、環境への配慮やモノを大切にすること意識など、SDGsへの理解と意識を深める取組みを継続していきます。

また、「千葉プロジェクト」は千葉県に貢献できる新たな取組みを常に検討し、実施していく予定です。

以上